



自分をアップデートする 充実の2学期に

夏休み中の研修で、プロ野球ソフトバンクホークス元監督の工藤公康さんの講演を聴く機会がありました。

入団してきた選手のうちに、一軍に定着して何年もプレーできる選手は、わずか3%未満なのだそうです。つまり100人いたとして2~3人のみ。プロ野球に長く残ることができた選手に共通する資質・能力は何か。

それは「**自分で考えて、自分をよくしようと進んで努力できる**」ことなのだそうです。

高校を卒業してプロの世界に入ってくる子たちは、それぞれ地元で「天才」「神童」などと言われてきた子ばかりなので、入団時は自分に自信があり、多くが他人のアドバイスに興味を示さないそうです。やがて、それでは通用しないことがわかりアドバイスを求めてくるようになりますが、アドバイス通りにしているだけでは他の皆と同じなので、一軍に行けるような抜きん出た力をつけることができず、数年後にはやめていってしまうそうです。**アドバイスを聞きながら、さらに自分で考えて工夫し、努力できる者だけが残る**と話されました。さらに、一軍入りできても、人間の肉体は20歳代前半以降衰えていくので、**衰えを上回るトレーニングをしたり、新しい何かを身につけるなど工夫したりしてアップデート**していかなないと一軍に残ることはできないとのこと。ソフトバンクホークスでは、選手がそういう練習をしているそうです。強い理由がわかりました。

プロ野球の世界ほど厳しくなくとも、学校でも同じことは言えると思います。子どもたちも、我々教職員も、常に自ら学び、考え、工夫し、努力して自分をアップデートしていきたいものです。そんな2学期になるとよいなと願っています。



P T A 早朝作業 ご協力ありがとうございました



8月29日(土)には、早朝より本校校庭の草取り作業へのご協力をいただきありがとうございました。今年度は、夏休み中に雨が多かったために草が生長していて作業が大変でしたが、おかげさまでとてもきれいになりました。保護者の皆様の集中力と、5、6年生の献身的な姿勢、自主的に参加してくれた1~4年生がよく働いてくれたことから、「竜王西小学校の未来は明るいなあ。」と感じました。

作業後に、「来年度は刈り払い機を持っている保護者の方にご協力いただいて、皆が作業を始める前に、刈り払い機で刈れるところを刈ってはどうか。」とご提案をいただきました。本年度の反省を踏まえて検討したいと思います。ありがとうございます。



一学期終業式での児童代表の発表

一学きをふりかえって、二学きにむけて

二年生

わたしが、一学きががんばったことは、けいさんがはやくできるようにれんしゅうするのをがんばりました。さいしよは、むずかしくて、おそかったけど、れんしゅうしてはやくできるようになりました。

夏休みたのしみなことは、きょうりゅうはくぶつかんに行くことです。どうしてかという、かぞくみんなで行けるからです。

二学きにがんばりたいことは、かん字をおぼえたり、さん数のかけざんをがんばりたいです。どうしてかという、一学きにかん字をおぼえたり、かけざんをれんしゅうしても、むずかしくて、できなかったからです。

友だちと学校生かつをたのしみたいです。

せいかくにけいさんできるのなら、はやくけいさんするのはとてもよいことです。だから、はやくけいさんできるようにれんしゅうをがんばったのはよいことです。よくがんばりました。

二学きにがんばりたいことも、こつこつとど力をつづけることがひとつうなことを書いています。つづけられるようにくふうしてとりくんでください。

ゆう気をだしたこと

四年生

今までの私は低学年の子がこまっていたても、はずかしくて声をかけることが出来ませんでした。ですが、四年生になり、こまっていた低学年の子に、初めて自分から声をかけることができました。

その子はハッピーたてわりかつどうの後、教室にもどれなくてこまっていた。いつもの私なら声をかけることができません。その時はゆう気を出して、「どうしたの？教室はこっちの方から行けばもどれるよ。」

と声をかけました。すると、その子は、

「うん、わかった。」

と言い、教室にもどって行きました。そのすがたを見て、とても安心しました。ゆう気を出して声をかけてよかったなと思いました。

二学期には運動会があります。きよ年は同点ゆう勝でした。今年の運動会では、自分から低学年の子に声をかけ、赤組みんなでだんけつし、ゆう勝出来るようにがんばりたいです。

いよいよ楽しみにしていた夏休みがはじまります。私が一番楽しみなことは、新潟のおばあちゃんの家に行き、長岡花火を見ることです。都道府県調べや自主学習で、長岡花火について調べました。長岡花火は、戦争やしんさいのふつこう、平和をねがって花火大会が行われます。花火ひとつひとつの思いや意味を知り、花火を見るのがとても楽しみになりました。今年の花火大会では、家族といっしょに平和をねがって花火を見て、花火大会を楽しみたいです。

縦割り活動を行う理由がここにあります。子どもたちは、遊ぶ中で生きるためのスキルを主体的に身につけます。「年下の子のために、勇気を出して問題を解決する」ことにチャレンジして、必要なスキルと自信を身につけることができました。

